

かいとう

算数解答

2025

3点
×
()

小計

24

1	(1)	①	14399	1
		③	$\frac{9}{11}$	3
		⑤	67 完答 あまり 4	5
	(2)	34	ふくろ	6
	(3)	108	g	7
	(4)	13	まい	8

②	4.2	2
④	13	4

4点
×
()

小計

24

2	(1)	①	5	分	9	
		②	3	回	10	
		③	90	分	11	
	(2)	①	5	回	12	
		②	6月 3	日で、ちがいは 13	人	13
		③	53	人	14	

4点
×
()

小計

28

3	(1)	①	3	15	
		②	1000 せん [千] 倍	16	
	(2)	①	93	億	17
		②	2000	億	18
	(3)	①	38	億	19
		②	40 完答 億 1000 万	20	
	(4)	6012345789 数字指定			21

4点
×
()

小計

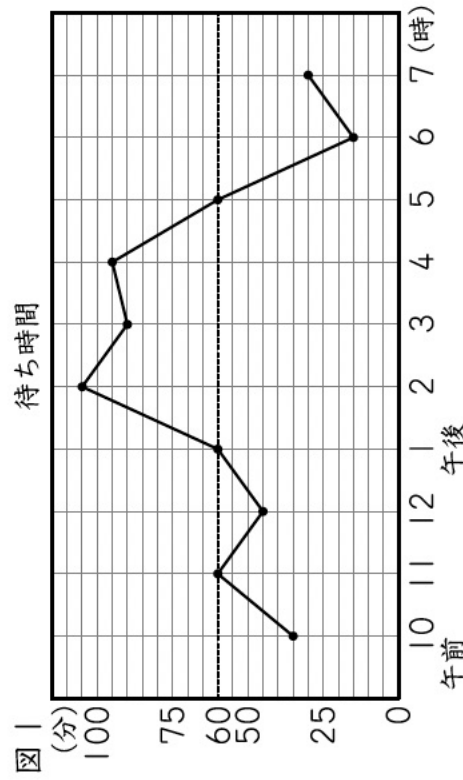
24

4	(1)	①	292	度	22
		③	116	度	24
	(2)	①	52	度	26
		②	64	度	27

②	53	度	23
④	77	度	25

かい せい 解 説

- 1** (1)② $3.6 - 1.9 + 2.5 = 1.7 + 2.5 = 4.2$
- ③ $1 - \frac{5}{11} + \frac{3}{11} = \frac{11}{11} - \frac{5}{11} + \frac{3}{11} = \frac{6}{11} + \frac{3}{11} = \frac{9}{11}$
- (2) (えん筆の本数) $\div$ (ふくろのえん筆の本数) = (ふくろの数)です。
- $170 \div 5 = 34$ (ふくろ)
- (3) (箱の重さ) + (ボール7この重さ) = (箱全体の重さ)だから、ボール7この重さは、 $986 - 230 = 756$ (g)です。よって、ボール1この重さは、 $756 \div 7 = 108$ (g)
- (4) 3年生16人に配った折り紙のまい数の合計は、 $15 \times 16 = 240$ (まい)だから、残った折り紙のまい数は、 $357 - 240 = 117$ (まい)です。4年生は9人いるから、(折り紙のまい数) $\div$ (人数) = (1人に配ったまい数)より、4年生1人に配った折り紙のまい数は、 $117 \div 9 = 13$ (まい)
- 2** (1)① 5目もりで25分を表しているから、1目もりは、 $25 \div 5 = 5$ (分)を表します。
- ② 60分と50分をくらべると、 $60 - 50 = 10$ 、 $10 \div 5 = 2$ より、60分は50分の目より2目もり上です。下の図1のように、午前11時、午後1時、午後5時の3回です。



- ③ 待ち時間が最も長かったのは午後2時で、 $100 + 5 = 105$ (分)、最も短かったのは午後6時で、 $5 \times 3 = 15$ (分)です。よって、ちがいは、 $105 - 15 = 90$ (分)
- * グラフの午後2時の点と午後6時の点は18目もりちがうから、 $5 \times 18 = 90$ (分)と求めてもよいです。
- (2)① 外国人の利用客数を表すグラフの点か、日本人を表すグラフの点より上にある日にちを読み取ります。6月2日、3日、4日、6日、8日の5回です。
- ② ちがいが最も大きいのは、同じ日で2つのグラフの点が最もはなれている3日です。たてのじくは5目もりで($40 - 30 =$)10人を表しているから、1目もりは、 $10 \div 5 = 2$ (人)、半目もりは、 $2 \div 2 = 1$ (人)を表します。2つのグラフの点は6目もり半はなれているから、 $2 \times 6 = 12$ 、 $12 + 1 = 13$ (人)
- * 6月3日のそれぞれの人数を求めて、日本人は51人、外国人は64人だから、 $64 - 51 = 13$ (人)と求めてもよいです。
- ③ 6月5日の利用客数は、日本人が47人、外国人が36人で、合計は、 $47 + 36 = 83$ (人)だから、9日の利用客数の合計は、 $83 + 18 = 101$ (人)です。7日の日本人の利用客数は64人だから、9日の日本人の利用客数は、 $64 - 16 = 48$ (人)です。よって、9日の外国人の利用客数は、 $101 - 48 = 53$ (人)
- 3** (1)① 位取りの表をかいて数字 図2
- をあてはめると、右の図2のようになります。
- ② 左はしの7の位は、左から4けた目にある7の位の3けた上です。整数は、位が1けた上がるごとに10倍になるから、3けたでは、 $10 \times 10 \times 10 = 1000$ (倍)になります。

十	千	百	十	一	千	百	十	一
十	兆				億			万
7	2	0	7	3	5	0	0	8
								0
								0
								0
								0

- (2)① 1000万が10こで1億、1000万が100こで10億です。
 $930 = 900 + 30$ より、1000万が900こで90億、30こで3億だから、90億+3億=93億になります。

- ② 右はしに0がある整数を $\frac{1}{10}$ にすると、右はしの0が1ことして位が1つ下がります。

よって、0を1ことした数 図3

が200億になるもとの数は、
 右の図3のように、200億の
 10倍で2000億です。

千	百	十	一	億	千	百	十	一	万	千	百	十	一
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (3)① アが50億のとき、数直線の1目もりは、50億-40億=10億を10等分してあるから1億を表します。イは40億より2目もり(2億)小さい数で、40億-2億=38億

- ② 2目もりが、40億-39億9800万=200万を表すから、1目もりは、 $200万 \div 2 = 100万$ で、10目もりは、 $100万 \times 10 = 1000万$ を表します。アは40億より1000万大きい数だから、

$$40億 + 1000万 = 40億1000万$$

- (4) 60億より大きくて60億に最も近いのは6012345789で、60億とのちがいは、 $6012345789 - 6000000000 = 12345789$ です。60億より小さくて60億に最も近いのは、5987643210で、60億とのちがいは、 $6000000000 - 5987643210 = 12356790$ です。

よって、60億に最も近いのは6012345789です。

4 (1)① $\text{ア} = 360 - 68 = 292$ (度)

② $\text{イ} = 180 - 127 = 53$ (度)

- ③ 2本の直線が交わってできる、向かい合った角の大きさは等しいから、右の図4で、

$$\text{ウ} = \text{キ} = 360 - 244 = 116$$
(度)

- ④ 下の図5で、 $\text{ク} = 231 - 180 = 51$ (度)です。

向かい合った角だから、 $\text{ケ} + \text{コ} = 128$ 度です。

よって、 $\text{エ} = 128 - \text{ケ} = 128 - 51 = 77$ (度)

* 下の図6のように、 $\text{セ} = 180 - 128 = 52$ (度)、 $\text{シ} = 180 - \text{セ} - \text{ケ} = 180 - 51 - 52 = 77$ (度)と求めてもよいです。

図4

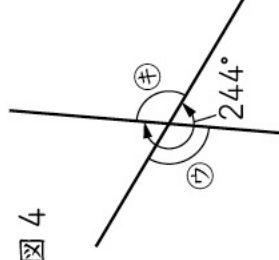


図5

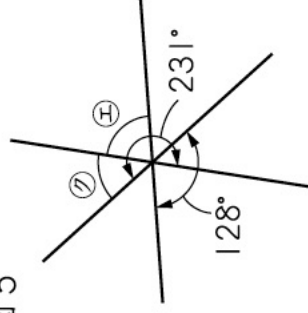
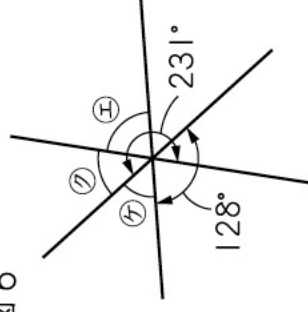


図6



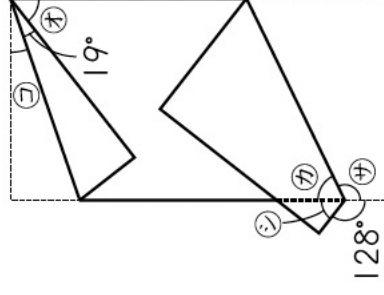
- (2) 折り返した角の大きさは等しいことを使います。 図7

- ① 右の図7で、折り返した角だから、 $\text{コ} = 19$ 度です。長方形の4つの角の大きさは、すべて90度だから、 $\text{オ} = 90 - 19 - 19 = 52$ (度)

- ② 図7で、折り返した角だから、 $\text{サ} = \text{カ} + \text{シ}$ です。 $\text{サ} + \text{カ} + \text{シ} = 360 - 128 = 232$ (度)だから、 $\text{サ} = 232 \div 2 = 116$ (度)です。

$$\text{カ} = 180 - \text{サ} = 180 - 116 = 64$$
(度)

* $\text{シ} = 180 - 128 = 52$ (度)を使って求めてもよいです。



国語解答

4				
小計 4点 x () () / 24				
(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
イ	い	ろ	い	ろ

31				
い				
ろ				
い				
ろ				
と				
昔				
の				
話				
を				
聞				
く				
こ				
と				
30				
(4) 書きぬき。				
29				
ウ				
28				
ア				
27				
上				
手				
に				
働				
い				
て				
お				
金				
を				
生				
み				
出				
す				
26				
ウ				
(1)				

3								
小計 4点 x () () () () / 36								
(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
エ	イ	イ	①	エ	ウ	ア	陸	午
25	24	23	22	21	20	19	18	17

22								
安								
心								
②								
牧								
草								
21								
エ								
20								
ウ								
19								
ア								
18								
を								
人								
り								
ま								
る								
か								
後								
午								
草								
(1)								

(6) 書きぬき。完答)

(2) 書きぬき)

(1) (別例)「牛にえさをあげること。」
・「牛にほし草をやる」にあたる内容がないものは0点。「ほし草」は「ほした草・牧草・えさ・食べ物」でも可。「やる」は「あげる・あたえる」でも可。
・「(牛) たち」「午後から・昼から」の有無は問わない。

2	
小計 3点 x () () / 24	
(2)	(1)

③	①	①
④	④	ア
ウ	ア	9
②	③	②
エ	エ	イ

④	②	③
④	④	ウ
エ	イ	11
③	③	④
イ	エ	イ

(2) 各完答)

1	
小計 2点 x () () / 16	
(5)	(1)

拾	ひと
う	しい

(6)	(2)
平	は
泳	ぐ
ぎ	く
む	

(7)	(3)
研	き
究	て
	き

(8)	(4)
代	じ
理	ょう
	き
	やく

かい せつ 解 説

1 漢字の読み書き

2 主語と述語

- (1) 主語と述語の関係は、述語がどういうことを表しているかによつて、「何が—どうする（待つ）」、「何が—どんなだ（悲しい・ゆたかだ）」、「何が—何だ（絵だ）」という三つの形に分けられます。
- (2) 文の主語と述語を見つけたときは、まず述語を見つけてみます。①は、「休んだ」という述語を見つけたら、「何が（だれが）」休んだのかを考えます。②は、「何が（だれが）」行つたのかを考えます。③は「何が」しずかなのかを考えます。④は、「何が」うつくしいのかを考えます。なお、②のように、主語は「くが」「くは」以外に、「くも」などの形になっていることがあるので気をつけましょう。また、④のように、ことばの順番をふつうとは逆にする表し方をしている場合、述語が文の終わりにきていないこともあるので注意しましょう。

3 物語（堀米薫「青空王—オ—」より）

- (3) いやがらせをしているものがキナコと雄馬と令、いやがらせを受けているものがモモと秀、それを見ているだけでかかわろうとしないものがほかの牛と陸です。
- (4) 秀がいやがらせを受けているのを見て、陸は「秀をかばつてやらなくちゃ」とは思っていますが、おそろしさから「心ぞうがどきどきするだけで体が動かな」くなっています。
- (5) 陸が大声をあげたあとで、学校での出来事を思い出して作業が止まっていたので、まりんは心配して話しかけているのです。
- (8) 空らん直後に「見つめた」とあるので、「じつと」が入ります。
- (9) 陸は、キナコからいやがらせを受けるモモを見て学校での出来事を思い出しました。そのあと、サクラがモモを助けるような行動を取つたのを見たことで、その行動が自分の学校での状況に関係があるように感じて、「いろいろな感情」がわきおこっています。工が正解です。本文中で、陸は秀を助ける・助けないといった決断をしていないので、アとイはふさわしくありません。また、ウのように「落ちこんでいる」様子はえがかれていません。

4 説明的文章（齋藤孝「10歳の選択」より）

- (1) 筆者は三色のボールペンを使って、「三色がバランスよくあるように」しています。大事な用事にかたよつてしまわないようにしているので、ウが正解です。
- (3) ① 空らんの前の「1週間のスケジュール表を作って、予定を書きこ」んだあとの自然な流れとして、あとの「絶対にやらなければいけないことが見えてきます」という内容につながっているため、「すると」が入ります。
- ② 空らんの前の「おじいちゃんやおばあちゃんがいる人は、会えるときに会つたほうがいい」理由が、あとで「おじいちゃん、おばあちゃんが元気に過ごせる時間は、限られているから」と書かれています。「なぜなら」は必ず「くから・くため」で受けることを覚えておきましょう。
- (5) 筆者は、自分がタイを旅行したときの経験をまじえながら、「時間を大事にするという気持ち」が大切であることを説明しています。イが正解です。アは「他人の時間をむだにしないことが一番大事である」、ウは「これまでむだにしてきた時間をとりもどすための方法を説明している」、エは「時間をむだにしないように注意しすぎることの短所も具体的に説明している」が、それぞれふさわしくありません。



※答えは、はっきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。
また、解答欄からはみ出してはいけません。
※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはっきりと書きなさい。
※解答欄には答えのみ書きなさい。

① 7月テスト 小4算数 解答用紙
2025

3点 × () 小計 /24	1	(1)	①		1
			③		3
			⑤	あまり	5
			(2)	ふくろ	6
		(3)	g	7	
		(4)	まい	8	
		(1)	②		2
			④		4

4点 × () 小計 /24	2	(1)	①	分	9
			②	回	10
			③	分	11
		(2)	①	回	12
			②	6月 日で、ちがいは 人	13
			③	人	14

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

②会場コード(右ツメ)	⑧区分	⑨受験番号	⑩科目	氏名	⑪総得点
	1	4男1女9	A 2		100

4A 算-7

4点 × () 小計 /28	3	(1)	①		15		
			②	倍	16		
		(2)	①	億	17		
			②	億	18		
		(3)	①	億	19		
			②	億 万	20		
		(4)					21

4点 × () 小計 /24	4	(1)	①	度	22
			③	度	24
		(2)	①	度	26
			②	度	27
	②	②	度	23	
		④	度	25	



Ⓐ

7月テスト

小4国語

解答用紙

※答えは、はつきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。また、解答欄からはみ出してはいけません。
※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはつきりと書きなさい。

⑳総得点
／100

②会場コード (右ヅメ)

⑧区分
1

⑨受験番号
4男1女9

⑩科目
A 1

氏名

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

㉑第1領域 *
／16

* …漢字の読み書き

①
小計 4点 × ()
／16 ()
(5) (1)
う しい
5 1

(6) (2)
ぎ む
6 2

(7) (3)

(8) (4)

8 4

㉒第2領域 **
／24

** …ことばのきまり

②
小計 3点 × ()
／24 ()
(2) (1)
③ ① ①
A A
9
B B ②
15 13 10
④ ② ③
A A
11
B B ④
16 14 12

(7) (3)

(8) (4)

17

18

と

こ

。

㉓第3領域 **
／36

** …物語の読解

③
小計 4点 × 減点 () - []
／36 () - []
(9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
25 24 23 ① 21 20 19
22 ②

④

㉔第4領域 **
／24

** …説明的文章の読解

④
小計 4点 × ()
／24 ()
(5) (4) (3) (2) (1)
31 ② ① 26
29 28
30 27

2025

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 二本のひもの長さが等しい。
- (2) 親鳥がひなを育む。
- (3) 汽笛の音が聞こえる。
- (4) バスが乗客をおろす。
- (5) ごみをヒロウ。
- (6) ヒラオヨギをおぼえる。
- (7) 日本の歴史をケンキュウする。
- (8) 友人のダイリで出席する。

2

文の中で、「何(だれ)が」を表すことばを主語といい、「どうする・どんなだ・何だ」を表すことばを述語といいます。これについて、次のそれぞれの問いに答えなさい。

- (1) 次の①～④の文の——線部の述語の説明としてふさわしいものを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。
 - ① 駅のホームで電車を待つ。
 - ② 友だちにうそをつかれて悲しい。
 - ③ それは弟が先週かいた絵だ。
 - ④ このあたりは緑がゆたかだ。
- (2) 次の①～④の文について、それぞれの文全体の㉠主語と㉡述語を一つずつ選び、記号で答えなさい。
 - ① ㉠わたしは ㉡今日 ウ 学校を ㉢休んだ。
 - ② ㉠先週 ㉡イ 弟も ウ プールに ㉢行行った。
 - ③ ㉠ア だれも ㉡イ いない ウ 教室は ㉢エ しずかだ。
 - ④ ㉠ア なんて ㉡イ うつくしいんだ、ウ この ㉢エ けしきは。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

《陸は、牧場ではたらくいとこの大ちゃんにさそわれて、夏休みに牧場に遊びに来ています。その牧場主が和夫さんで、和夫さんのむすめがまりんです。》

お昼ごはんを食べおわると、和夫さんが、陸にいった。

「午後から、牛たちに、ほし草をやってくれるかい？」

「陸くん、できるのかな。けっこう力仕事だよ。」

横からそういう、まりんの目元がわらっている。

「①まかせてください！」

陸は、すかさずこたえた。

「よし、じゃあ、たのんだぞ。」

和夫さんに見送られ、陸はまりんと牛舎に向かった。

牛舎で、まりんから、先が四本に分かれた道具をわたされた。

「②このフォークを使って、ほした草を牛にあげるんだ。今ごろ、父さんと大ちゃんは、このほし草のロールを作っているはずだよ。」

まりんは、自分のせたけほどもある、ほし草の大きなかたまりにかけよると、ポンポンと手のひらでたたいた。

ふと、陸の目が、通路を歩く一頭の牛にひきよせられた。その牛だけ体の色が全体的に白く、黒いもようが少ない。

「まりんちゃん、もしかして、あの牛がサクラ？」

陸が牛を指さすと、まりんは、ふわつとわらった。

「すごい、陸くん、どうしてわかったの？」

「きのう、リビングの絵で、ぼくに教えてくれたよね。向こうの牛がキナコで、あっちにいるのがモモかな。」

「うん、大正解！」

まりんは、楽しそうに歌をうたいながら、ほし草のロールを、両手に持ったフォークでほぐしはじめた。

陸も、まりんをまねて、ほし草をフォークにからめると、特大スパゲティーでも食べるような気分で持ちあげた。

「うわあ、けっこう重い……。」

陸は、ふらつきながら、さくのそばにほし草を運んだ。たちまち、牛たちが、ほし草を食べに集まってくる。

陸は、「あ！」と、小さくさげんだ。

とつぜんキナコが首をふって、モモのわきばらに、がつんと頭つきをしたのだ。

「③おびえたようににげるモモを、キナコはさらに追いかけていく。ほかの牛たちは、かかわりたくないというように、すっと身を引いていく。」

「くら！ キナコ、やめろ！」

陸は、むちゅうでさげんでいた。

と同時に、ざらりとしたものが、心の中にどんどん広がっていく。

四年生になったとき、秀が転校してきた。秀は、これまでクラスにはいなかったような、超がつくほどまじめな優等生タイプだった。

陸は秀と、ときどき、いっしょに帰るようになった。

「秀って、家に帰ってから、勉強ばかりしているの？ ゲームとかすることある？」

「しますよ。塾じゅくのテストが満点まんてんだったから、ドラゴンゲームを買ってもらえることになっているんです。」

「えー、それって新作じゃん！ いいなあ。今度、秀の家に遊びに行ってもいい？」

「いいですよ。夏休みになったら、陸くんとも遊ぶ時間ができると思います。」

「夏休みまで、あと十日じゃん。いっしょに遊ぼうよ。やくそく！」

「はい、やくそくです！」

その数日後。教室に入った陸は、目をうたがった。

秀が青ざめた顔をして、つくえの上にちらばったえんぴつを、かきあつめている。

そんな秀を、同じクラスの雄馬ゆうまと令れいが、にやにやとわらいながら、遠まきに見ている。

ときどきしながら席せきに着いたとき、雄馬のねちつとした声が聞こえた。

「秀って、ちょっと頭がいいからって、気どっちゃってさ。なんか、うざー！」

4 陸の体から、思わず血の気が引いた。秀をかばってやらなくちゃ。そう思っても、心ぞうがときどきするだけで体が動かない。

陸は、秀からふっと目をそらしてしまった。

その日から、秀はクラスでひとりぼっちになった。

終業式の日。下校時間になると、秀はとぼとぼと教室を出ていった。陸は、勇氣ゆうきをふりしぼって秀を追いかけた。

けれど、声をかけたいのに、どうしても声が出ない。

陸は、小さくなっていく秀の後ろすがたを、そのまま見送ってしまったのだ。

5 陸くん、どうしたの？ 大声を上げちゃって……。」

まりんの声に、陸は、はっとわれにかえった。

「あ、見て。6 サクラが来た。いつもこうなんだ。」

まりんの指さすほうを見ると、ほし草を食べにやってきたサクラが、まるで、となりに来いともいうように、モモを見ている。すると、モモはサクラのそばにいき、安心したように牧草を食べはじめたのだ。

(まさか、サクラはモモをかばっているってこと?)

7 あっけにとられる陸に、まりんが、晴ればれとした声でいった。

「サクラはね、いじめられている牛がいたら、ちゃんと守ってくれるんだよ。」

陸は、ならんではし草を食べるサクラとモモを、※ 見つめた。

ぎゅつとくちびるをむすぶと、陸は、ふたたびほし草を運びはじめた。

いろいろな感情かんじょうがおしよせてくる。フォークを持つ手に、さ

つきより力が入り、陸はいつのまにか、ふらつかなくなっていった。

〈堀米薫「青空モーター！」より〉

(1) — 線①「まかせてください！」とありますが、陸はどうすることに對して「まかせてください」と言ったのですか。「こと。」という形で、二十字をこえないように（、や。も字数に数えます）書いて答えなさい。

(2) — 線②「このフォークを使って」とありますが、陸がフォークを使っている様子をたとえを用いて書いている一文を本文中からさがし、その初め（はじめ）の七字（、も字数に数えます）を書きぬいて答えなさい。

(3) — 線③「おびえたようににげるモモを、キナコはさらに追いかけていく。ほかの牛たちは、かわりたくないというように、ずっと身を引いていく。」とありますが、この光景（こうけい）を見た陸は学校での出来事を思い出しています。それぞれの牛は、学校のどの人物と対応（たいおう）していますか。その組み合わせとしてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア〔モモ—秀 キナコ—雄馬と令 ほかの牛—陸〕

イ〔モモ—雄馬と令 キナコ—秀 ほかの牛—陸〕

ウ〔モモ—陸 キナコ—雄馬と令 ほかの牛—秀〕

エ〔モモ—秀 キナコ—陸 ほかの牛—雄馬と令〕

(4) — 線④「陸の体から、思わず血の気が引いた」とありますが、このときの陸の説明（せつめい）としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 雄馬や令からいやがらせをされてもやり返さない秀に、大人（おとな）っぽさを感じている。

イ 秀にいやがらせをした雄馬や令にはらを立て、すぐさま文句（もんこう）を言おうとしている。

ウ 秀が雄馬や令からいやがらせを受けたのだとわかり、おそろしくなっている。

エ 秀が雄馬や令に何かしてしまったのだらうと思い、様子を見守ろうとしている。

(5) — 線⑤「陸くん、どうしたの？ 大声を上げちゃって……。」とありますが、このときのまりんの気持ち（きもち）をふまえてこの部分を朗読（ろうどく）するときの読み方としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア えさやりをさぼる陸にあきれるように読む。

イ 急に大声を出した陸をしかるように読む。

ウ 変（へん）な行動をする陸をからかうように読む。

エ 様子のおかしい陸を心配するように読む。

(6) — 線⑥「サクラが来た」とありますが、サクラはどうするために来たのですか。それを説明した次の文の□に入るふさわしいことばを、それぞれこのあとの本文中から二字で書きぬいて答えなさい。

〈モモが①して②を食べられるようにするため。〉

(7) — 線⑦「あっけにとられる」の意味としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア よい行動に對して感心（かんしん）する様子。

イ 思いがけないことにぼう然とする様子。

ウ 自分の失敗をはずかしく思う様子。

エ 目にしたことが信じられず混乱する様子。

(8) ※に入るふさわしいことを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ちらっと イ じっと

ウ につこりと エ きろきよると

(9) 本文中の陸についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア サクラがモモを助ける様子を見て勇気をもらい、今度は自分がぜったいに秀を助けるんだと、強く決心している。

イ サクラのように行動できたらいいが、秀を助けることは自分の立場を不利にするのでできないと改めて感じている。

ウ 牛のサクラでも他の牛を守ろうとしているのに、友だちの秀を助けない自分はひどい人間だと思い、落ちこんでいる。

エ モモを助けるというサクラの行動と学校での出来事には関係があるように感じて、ふくぎつな感情がわきおこっている。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

時間には限りがあります。一日は24時間と決まっていますから、貴重なものです。

2000年ぐらい生きるのであれば、適当に過ごしてもいいのですが、さすがにそこまでは生きられないですね。100年いか、いかないかの人生の中で、3分の1ぐらいは寝ています。そう考えてみると、時間はすごく大切な資源です。

たとえば、遅刻がなぜいけないかというと、遅刻をすると、待っているほかの人たちの時間がむだになるからです。時間には、限りがありますから、みんなが大事にしようというのがルールです。

自分の時間にも限りがあります。なんでも、やれるわけではないですね。限られた時間の中で、何をしようかと考えます。あれとこれができると思ったら、やる順番を考えてパズルみたいにはめこみます。

そんなふうにして、^①ぼくは一日のスケジュールを決めています。

優先順位をつける話とも関係しますが、ぼくは、赤・青・緑の入ったボールペンをずっと使っていて、すごく大事な仕事や用事は、手帳に赤色で書きます。まあまあ大事なのは青色、自分が楽しむための用事は緑色です。1週間の予定をこの三色がバランスよくあるようにします。

緑色は、映画を見るなど遊びに関することです。大事な仕事の

赤ばかりでは、つかれます。限りある時間の中で1時間半あいていたら、そこに緑色で何か入れます。

限られた時間は、有効に使いたい。昔、アメリカのベンジャミン・フランクリンが、「²タイム・イズ・マネー」と言いました。直訳すると、時間はお金であるということですが、「時は金なり」と訳します。

時間を大事にすることは、お金と同じように、いえ、それ以上に価値があるのです。時間をむだにせず、ちゃんと使っていれば、上手に働いてお金を生み出すことができるという考え方もあります。

たとえば、もし5000円を落としたら、くやしいですよ。けれど、1時間あるいは3時間が何かで失われたら、それもすごくやさしい。何かをやれていたなら、時間がむだだったとは言いきれないですが、ぐずぐずしているくらいなら行動すればよかったと思うときがあります。

ぼくはこの間、タイを旅行しました。知りあいにおすすめされたからです。「ムエタイ」というキックボクシングが盛んだというので、ジムに行つて、やらせてもらいました。おもしろかったです。寝ている大きな仏像も見ました。限られた3泊4日が、すごく貴重な充実した時間になりました。

この時間の中で何ができるかと考えるとき、ぼくは30分単位でイメージすることが多いです。手帳でもカレンダーでも円グラフでもいいので、1週間のスケジュール表を作って、予定を書きこんでみましょう。

①

絶対、絶対にやらなければいけないことが

45

40

35

30

25

見えてきます。

夏休みなどの長期休みを、何もしないでばーっと過ごしちゃうなんてことがあります。

たとえば、どうしてもゲームをやりたい。友だちと遊びたいというのであれば、ここの1時間でやると決めておく。遊ぶことも計算に入れて、予定を立てるといいですね。

それから、³おじいちゃんやおばあちゃんがいる人は、会えるときに会ったほうがいいですよ。

②

おじいちゃん、おばあ

あちゃんが元気に過ごせる時間は、限られているからです。自分から会いに行く。そして、いろいろと昔の話を聞くことが大事です。昔の話は、聞いておかないと、後から聞けないですよ。たとえば、おばあちゃんのおばあちゃんの話聞いておくと、すごく昔のこともわかります。

スケジュールを立てるときに、「タイム・イズ・マネー」とばかり言っていると、ちよつと品がないかもしれないですね。けれども、時間を大事にするという気持ちで、やれることを決めてみてください。

〈齋藤孝「10歳の選択」より〉

60

55

50

(1) — 線①「ぼくは一日のスケジュールを決めています」とありますが、筆者のスケジュールの決め方の説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 限りある時間をむだにしないために、スケジュールに空きがないようにつめこんでいる。

イ はじめに大事な仕事や用事の予定を入れてから、あまった時間に何をするかを考える。

ウ 大事な仕事や用事の予定ばかりを入れなくて、自分の遊びの予定などもバランスよく入れている。

エ その期間にやれることを書き出して、思いついた順番のままだと予定として入れていく。

- (2) — 線②「タイム・イズ・マネー」とありますが、本文中ではこのことばの意味を二つ挙げています。それらをまとめた次の文の□に入るふさわしいことばを本文中から十三字で書きぬいて答えなさい。

・時間を大事にすることには、お金以上の価値がある。

・時間をちゃんと使っていれば、□ことができる。

- (3) ①・②に入るふさわしいことばをそれぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度選ばせない。)

ア すると イ ところが ウ なぜなら

エ ですから オ さて

- (4) — 線③「おじいちゃんやおばあちゃんがいる人は、会えるときに会ったほうがいいですよ」とありますが、おじいちゃんやおばあちゃんに会って、どうすることを筆者はすすめていますか。ふさわしいことばを本文中から十三字で書きぬいて答えなさい。

- (5) 本文の説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 有名な人が言った言葉を紹介しながら、他人の時間をむだにしないことが一番大事であると説明している。

イ 自分が実際に経験したことじっさい けいけんにふれながら、限りある時間をむだにしないように使うことの大切さを説明している。

ウ 読者に質問をして考えさせながら、これまでむだにしてきた時間をとりもどすための方法ほうほうを説明している。

エ 説明したことに対する例を挙げながら、時間をむだにしないように注意くたいしすぎることの短所も具体的に説明している。

(これで問題は終わりです)



2025

1 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の計算をしなさい。ただし、⑤はあまりも^{もと}求めなさい。

① 847×17

② $3.6 - 1.9 + 2.5$

③ $1 - \frac{5}{11} + \frac{3}{11}$

④ $78 \div 6$

⑤ $540 \div 8$

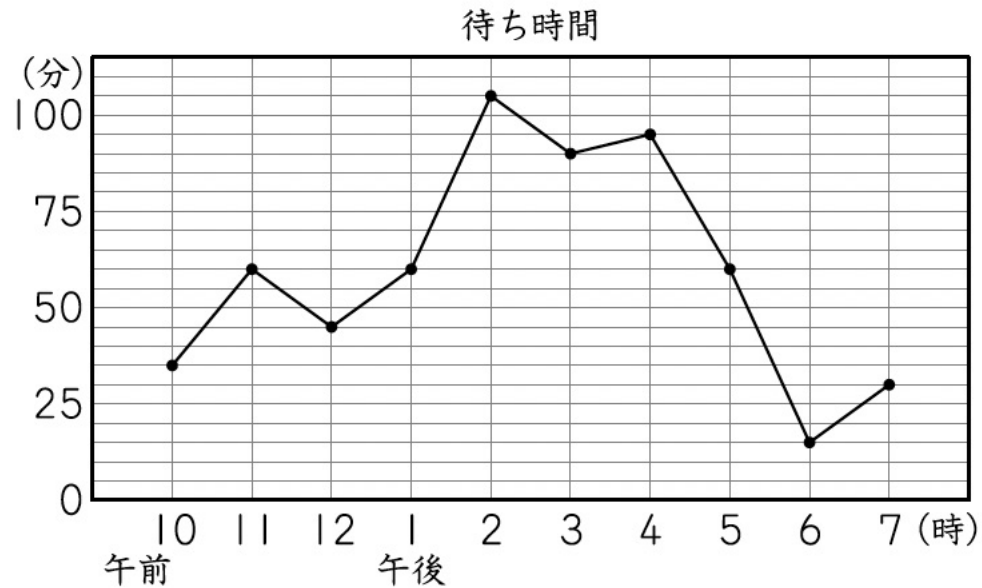
(2) 170本のえん筆とふくろがたくさんあります。1ふくろにえん筆を5本ずつ入れていくと、えん筆が入ったふくろは何ふくろできますか。

(3) 同じ重さのボール7こを、重さが230gの箱の中に入れました。箱全体の重さが986gのとき、ボール1この重さは何gですか。

(4) ^お折り紙が357まいあります。これを3年生16人に1人15まいずつ配りました。
^{のこ}残った折り紙すべてを4年生9人に同じまい数ずつ配ると、4年生には1人何まい配られますか。

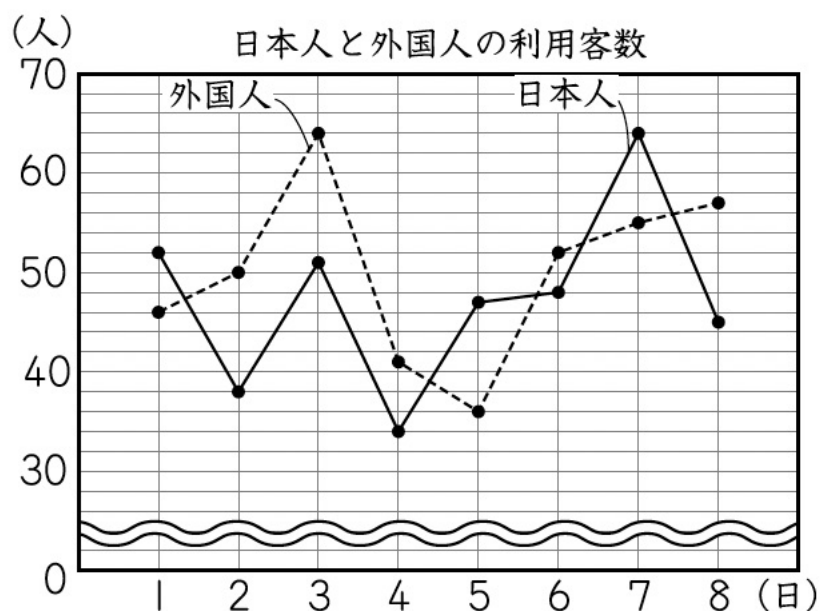
2 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

- (1) ある遊園地のアトラクションには、いつも行列ができていて、アトラクションに乗るためには^{じゅんばん}順番待ちをしなければなりません。下の折れ線グラフは、ある日の午前10時から午後7時までの、1時間ごとの、アトラクションに乗るための待ち時間の^か変わり方を表したものです。これについてあとの①～③に答えなさい。



- ① たてのじくの1目もりは何分を表していますか。
- ② 待ち時間が60分だった時こくは何回ありましたか。
- ③ 待ち時間が^{もっと}最も長かった時こくと、最も短かった時こくでは、待ち時間は何分ちがいましたか。

- (2) 下の折れ線グラフは、あるホテルの1日の利用客数を、日本人と外国人に分けて、6月1日から8日まで調べて表したものです。これについてあとの①～③に答えなさい。



- ① 同じ日で、外国人の利用客数の方が日本人の利用客数より多かった日は何回ありましたか。
- ② 同じ日で、日本人の利用客数と外国人の利用客数のちがいが最も大きかったのは、6月何日で、ちがいは何人でしたか。
- ③ 6月9日についても調べたところ、6月9日の利用客数の合計は、6月5日の利用客数の合計より18人多く、6月9日の日本人の利用客数は、6月7日の日本人の利用客数より16人少なかったそうです。このとき、6月9日の外国人の利用客数は何人でしたか。

3 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 72073500080000について、次の①、②に答えなさい。

① ^{じゅうおく}十億の位^{くらい}の数字を答えなさい。

② この数の、左はしの7が表す大きさは、左から4けた目の7が表す大きさの何倍ですか。

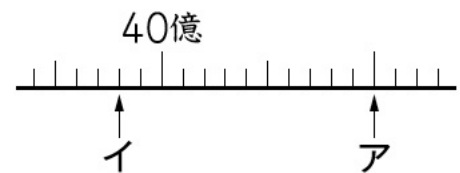
(2) 次の□にあてはまる数を答えなさい。

① 1000万を930こ集めた数は□億です。

② 200億は、□億を $\frac{1}{10}$ にした数です。

(3) 右の数直線について、次の□にあてはまる数を答えなさい。

① アの目もりが50億を表すとき、イの目もりが表す数は□億です。



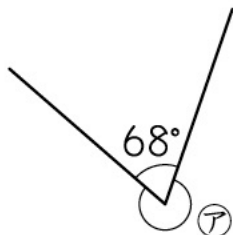
② イの目もりが39億9800万を表すとき、アの目もりが表す数は□億□万です。

(4) 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10この数字をすべて使って10けたの整数をつくるとき、60億に最も近い数を、0, 1, 2, …などの数字だけを使って答えなさい。

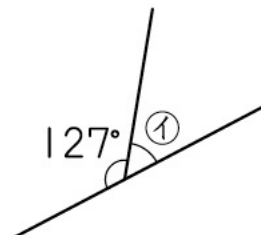
4 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の①～④で、㉠～㉤の角の大きさは、それぞれ何度ですか。

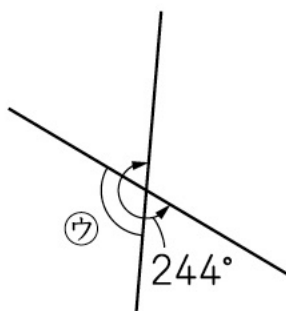
①



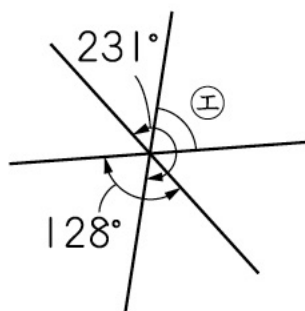
②



③



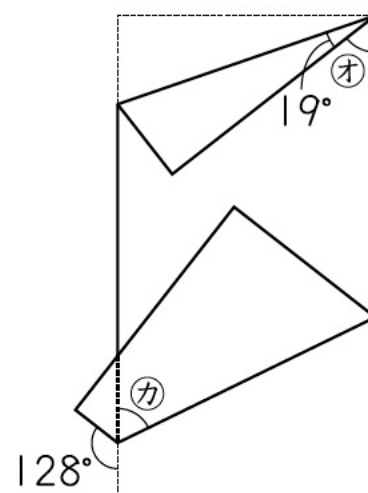
④



(2) 右の図のように、長方形の紙を2か所で折り返しました。これについて次の①，②に答えなさい。

① ㉠の角の大きさは何度ですか。

② ㉡の角の大きさは何度ですか。



(これで問題は終わりです)